

# 仁多庁舎改築は総合計画書の基本と変わらないのか

内田精彦 議員

町長 総合計画を基本として進めている



税いたたく目的で使用している。

**問** 放課後児童クラブは何に基づいてだれが設置し、また運営しているのか。

**答** 若月子育て支援室長 児童福祉法に基づいて、実施主体は奥出雲町、運営は仁多福祉会に委託している。

**問** 町内の放課後児童クラブ実施地区は、児童数、利用料の状況は。

**答** 若月子育て支援室長 実施地区は、布勢、三成、阿井、横田、八川、馬木の6ヶ所。年間登録者数は79名。一時利用者数は172名。また利用料は年間利用月額5千400円。8月の夏休みは6千600円。一時利用は半日利用300円。一日利用は500円。

**問** 放課後児童クラブの活動場所は充分確保されているのか。

**答** 若月子育て支援室長 三成は三成児童館、横田は横田幼稚園内の放課後児童クラブ室、布勢、馬木はそれぞれの園の遊戯室、八川は相談室を使用している。場合によっては公民館、小学校など

利用し工夫している。

**問** 豪雨により県営三成ダム、発電砂防用の貯水が約2時間50分にわたってダム本体の水門を越えてあふれ出ていたと発表。水門を開くことを周辺自治会、警察、消防に連絡したとあるが、どのようなマニュアルがあるのか、その対応は。

**答** 石原総務課長 職員待機の上、警戒体制をしていた。三成ダム放流については、県企業局から放流1時間前には通知を受けておりましたが、オーバーフローに関する連絡はありませんでした。したがって、消防、警察等の相互連絡はしておりません。

**問** 本年度も4月よりスタートして、はや6ヶ月半年となったが仁多庁舎建設の本年度予算2億8千万円の進捗状況は。

**答** 石原総務課長 仁多庁舎建て替えに伴う用地購入と補償費等については、現在補償物件の調査中で、10月末に終了予定。その後用地購入等の手続きに入る。調査

の基本設計業務は設計者の柔軟な、かつ高度な発想力、設計能力、豊富な経験を求めるため、プロポーザル方式による受託者を選定することとしており、9月4日に選定委員会によりプレゼンテーション及びヒアリングを実施したところです。今後、最優秀者と業務委託契約を締結し、今年度中に基本設計を実施したいと思

っている。現在、用地補償調査業務に約1千800万円の契約をしている。今後この基本設計業務契約、調査業務の成果によりまして、用地購入と物件補償の契約を行う。

**問** 奥出雲町総合計画書の中に、仁多庁舎の改築整備に当ってはこれまでの分庁方式の継続を基本に検討を進め、この結果をふまえて仁多庁舎を改築するとあるが、いまでもこの基本は変わらないのか。

**答** 奥出雲町の総合計画を基本として現在も計画を進めている。

**問** 最近黄色の封筒が使用されているが、どのようなときに使用するのか。

**答** 堀谷出納課長 黄色の窓空き封筒は主に税務課で税に関する督促、催告、差し押さえ予告に使用し、ほかの郵便物より目につきやすい色で使用している。

**問** 出す側と受け取る側で違う面もありますが、差別的にならないのか。

**答** 吉川税務課長 黄色い封筒で目につきやすくお支払い下さいというごことを目的にしたもので、差別でなく早く納